

ことしの**予算**の全体像

□ 平成26年度当初予算の総額は465億6,946万3千円

一般会計は、256億1,100万円となり、前年度より7億2,600万円(2.9%)増となりました。これは、消防救急デジタル無線設備整備事業などに対する負担金や臨時福祉給付金給付事業費などの増によるものです。

特別会計全体の予算規模は、157億4,464万6千円となり、前年度より4億9,476万9千円(3.2%)増となっています。これは、簡易水道事業特別会計や介護保険

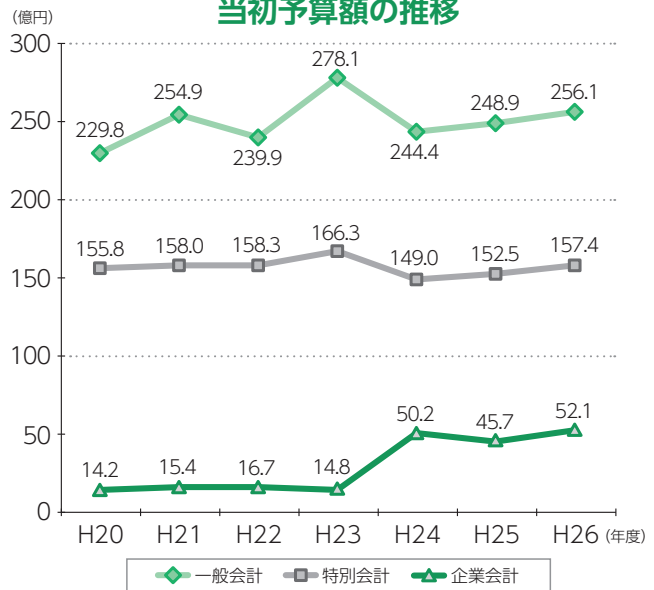
特別会計などの増によるものです。

企業会計全体の予算規模(収益的支出と資本的支出を合わせた支出総額)は、52億1,381万7千円で、前年度より6億4,606万8千円(14.1%)増となっています。これは、主に下水道事業会計の増によるものです。

平成26年度の各会計の当初予算額

一般会計	256億1,100万円
特別会計	157億4,464万6千円
簡易水道事業	5億4,275万3千円
農業集落排水事業	1,538万5千円
浄化槽整備事業	2億350万5千円
浅内財産区	157万2千円
常盤財産区	200万8千円
鶴形財産区	147万8千円
檜山財産区	283万8千円
国民健康保険	71億3,511万5千円
後期高齢者医療	6億4,028万円
介護保険	71億9,971万2千円
企業会計	52億1,381万7千円
水道事業	16億427万6千円
下水道事業	36億954万1千円
総計	465億6,946万3千円

当初予算額の推移



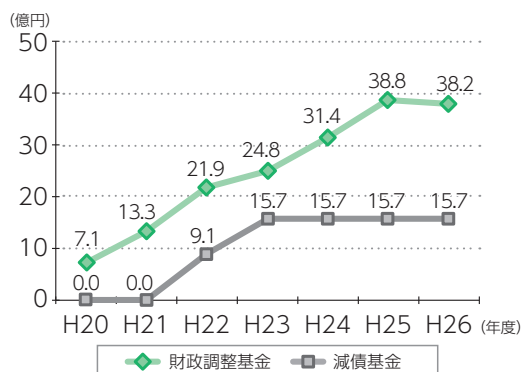
※H24年度に下水道事業が特別会計から企業会計へ移行

□ 財政状況

能代市の基金(貯金)に、財源が不足する年度に備えるための財政調整基金と、将来の市債(借金)返済のための減債基金があります。平成26年度において、財政調整基金は38億2,625万1千円、減債基金は15億6,693万4千円となっています。これを合併直後の18年度と比較すると、財政調整基金は22億4,802万6千円増、減債基金は15億6,638万2千円増となっています。

また、市の借金である市債残高は、前年度より1.9%増となっていますが、交付税算入のある有利な合併特別債や過疎債を活用しているため、市税等で賄わなければならない実質的な市債負担額は、合併以降減少傾向になっています。

財政調整基金と減債基金の推移



市債残高と実質市債負担額の推移

